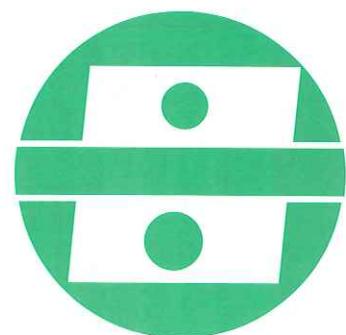


母親クラブ

第13号

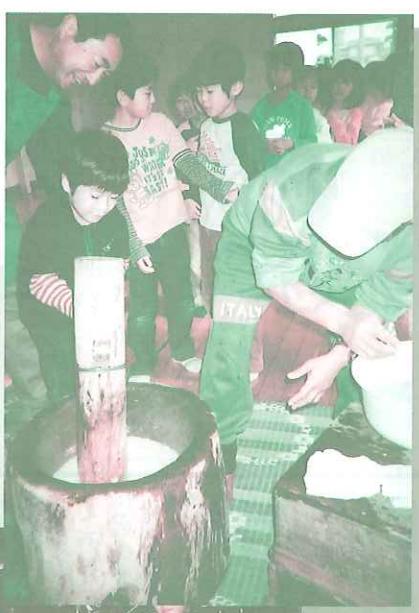
みらい子育てネット

だより



- 【第13号内容】**
- 会長挨拶 ●年頭挨拶 ●平成16年度全国大会報告
 - ブロック別研修会報告 ●平成16年度遊び場遊具の安全点検報告 ●モデル事業報告
 - 母親クラブと児童館は車の両輪 ●みらい子育てネット活動報告
 - ブロック別活動報告 ●叙勲のお知らせ ●事務局からのお知らせ

発行
全国地域活動連絡協議会
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1 10F
財団法人 児童健全育成推進財団内
TEL. 03-3797-8183~4
FAX. 03-3486-5142
<http://www.hahaoya-club.ne.jp/>



三十周年にあたり



全国地域活動連絡協議会
会長 阿部恭子

会長挨拶

年頭挨拶



厚生労働省
雇用均等・児童家庭局
育成環境課長 安沢勝秀

皆様新年あけましておめでとうございます。希望も新たに、清々しい新春をお迎えのことと思います。本年も皆さんにとりまして幸多き年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年は「みらい子育てネット」三十周年という節目を迎えて、「活動マニュアル」の作成といった関連事業を実施してきたところです。皆様には、多大なる御協力をいただき、こうした関連事業が順調に進められましたことに感謝申し上げます。

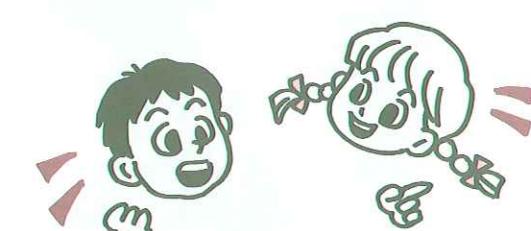
本年は、いよいよ次世代育成支援行動計画の実行段階に入ります。子どもたちをめぐる事件や事故が毎日のようにニュースとなり、子育てについて言いい知れぬ不安感が漂つておりますが、こうしただからこそ、私たちの日々の活動を充実させ、しっかりと次の世代を守り育てて行かなければならぬと思います。「子どもたちの幸せのために」という視点を活動の基軸として改めて確認し、より一層地域に密着した活動を開けて参りたいと思います。

今後、私どもの地域の中での役割は、ますます重要なものと思いますが、国や地方自治体をはじめ多くの人と連携し、より活発な活動を進めていくため、皆様のますますのご支援とご協力をお願い申し上げます。

全国で地域組織活動に取り組む母親クラブの皆さん、あけましておめでとうございます。

昨年は、合計特殊出生率が「1.29」と過去最低を記録しました。社会で少子化に対する危機感が十分に共有されていましたから、子どもが健康に育つ社会、子どもを生み、育てることに喜びを感じることができると社会へ転換することができたと思います。これらのこと題に對応するため、昨年、少子化社会対策基本法に基づき少子化社会対策大綱を策定し、少子化の流れを変えるための施策を強力に推進することにしました。本大綱に盛り込まれた施策について、その効果的な推進をするため、昨年十二月に「子ども・子育て応援プラン」を策定しました。

母親クラブは、子どもの幸せを第一に考え、児童館等を拠点とした親子及び世代間交流や子育て支援活動、遊び場の安全の確保など、子どもたちの健全育成に寄与する地域活動団体として、全国各地で大きな役割を果たして頂いております。一方、児童虐待に示されるように、育児不安やノイローゼの大、子どもを育てることが喜びではなく負担になるという子育ての困難な状況も生まれています。これまで地域で児童の健全育成に携わってきた母親クラブが新たな子育て支援活動に取り組んでいます。



親クラブによる地域の安全づくりモデル事業事例集」をまとめましたので、これらを参考にし、母親クラブが地域の子育て支援活動で異なる役割を發揮していただきたいと思います。また、本年度から実施しています「母子育成環境課長 安沢勝秀

親クラブによる地域の安全づくりモデル事業事例集」においては、地域で児童が安全に過ごせるよう、児童の視線に立つて危険な場所等をマップ化するなど、児童と一緒になった地域ぐるみの活動が進められています。更に、子ども・子育て応援プランの中でも児童を犯罪等から守るために取組を推進するため母親クラブ等によるパトロール活動等を行うことが掲げられています。今後とも地域に密着し、子どもが健やかに育つ地域づくりに努めていただきたいと思います。

最後に、母親クラブの皆さん方の日々の活動に感謝申しあげますとともに、本年も皆さんにとって良い年となりますようお祈り申しあげます。

講演は、「今の子どもは……」という前に「という演題で、ワトソン氏は日本の風習やしきたりに疑問をもち、日本人は形にこだわっているように見える。「形」の教育ではなく「心」の教育が大事なのではないか。また、子どもに感謝の心がないのは、親が「生まれてくれてありがとう」との感謝の気持ちを忘れることが出来ないでいる。まずは大人から「人を愛する心、感謝する心、人の役に立とうとする心」を持つべきであると二人の息子さんとの関わりを交えた楽しいお話をしました。

フォーラムは、コーディネーターに鈴木一光氏、パネラーにはロバート・ワトソン氏、児童館副館長、子ども会関係、母親クラブ代表とそれぞれに違つた立

んでいたくように、昨年六月に「母子育て支援活動で異なる役割を發揮していただきたいと思います。また、本年度から実施しています「母子育成環境課長 安沢勝秀

親クラブによる地域の安全づくりモデル事業事例集」をまとめましたので、これらを参考にし、母親クラブが地域の子育て支援活動で異なる役割を發揮していただきたいと思います。また、本年度から実施しています「母子育成環境課長 安沢勝秀

親クラブによる地域の安全づくりモデル事業事例集」においては、地域で児童が安全に過ごせるよう、児童の視線に立つて危険な場所等をマップ化するなど、児童と一緒になった地域ぐるみの活動が進められています。更に、子ども・子育て応援プランの中でも児童を犯罪等から守るために取組を推進するため母親クラブ等によるパトロール活動等を行うことが掲げられています。今後とも地域に密着し、子どもが健やかに育つ地域づくりに努めていただきたいと思います。

最後に、母親クラブの皆さん方の日々の活動に感謝申しあげますとともに、本年も皆さんにとって良い年となりますようお祈り申しあげます。

講演は、「今の子どもは……」という前に「という演題で、ワトソン氏は日本の風習やしきたりに疑問をもち、日本人は形にこだわっているように見える。「形」の教育ではなく「心」の教育が大事なのではないか。また、子どもに感謝の心がないのは、親が「生まれてくれてありがとう」との感謝の気持ちを忘れることが出来ないでいる。まずは大人から「人を愛する心、感謝する心、人の役に立とうとする心」を持つべきであると二人の息子さんとの関わりを交えた楽しいお話をしました。

フォーラムは、コーディネーターに鈴木一光氏、パネラーにはロバート・ワトソン氏、児童館副館長、子ども会関係、母親クラブ代表とそれぞれに違つた立

全国大会報告



場から子どもとの変化が述べられましたが、今も昔も子どもは変わっていない、子どもに對して常に大人は、「あなたの味方」「あなたの声は聞こえているよ」と言つて人生の素晴らしさを教えてあげる事など、日々の生活の大きなヒントになる心温まる話が展開されました。その後ホテル清風に移り意見交換会が行われ、それぞれに交流を深め、また「六郷鬼龍太鼓」の神楽と太鼓の演奏で一日の疲れを忘れさせてもらいました。

二日目は全地協事業説明・ブロック報告全体会とスムーズに進み、閉会式では大分県高木会長より次期開催地の仙台市地協子山会長へ大会旗が手渡され、全地協重田副会長より「見えない根っこがあるから花が咲く」と、今大会が充実感のあつた大会であつたとお言葉をいただき閉会となりました。

【北海道・東北・関東・甲信越
ブロック】

山形県山形市を会場に平成十六年度
みらい子育てネット全国地域活動連絡
協議会指導者研修会、北海道・東北・関
東・甲信越ブロック大会が、九月九・十日
の二日間に渡り開催されました。県内外
から二五〇余名の母親クラブ等の参加
をいただき盛会に開催できましたこと
に対し関係各位に心から感謝申し上げ
ます。「広げよう 子育て支える 地域の
輪」をメインテーマに山形市の中心市街
地を、歩いて・見て・感じて頂きながら、
我が町・我が地域ならではの子育て支援
を共に学び合い、共に語り合える研修会

今大会は会場・宿泊が別で、地元ではとても心配していましたが、皆様のご協力のもと無事遂行できましたことを感謝いたします。また、お手伝いをさせていただいた大分の方々も、準備を重ねる度に会員が一つになり、その上地域の方、行政の方々と多方面の援助をいただき、この機会に母親クラブの名前を大分県内に知つてもらうことが出来、とても嬉しく思いますと同時に、私たち

まず厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課 鈴木雄司 児童健全育成専門官より行政説明があり、少子化が及ぼす様々な社会問題や児童虐待などを捉え、「地域における子育て支援」の重要性・必要性のお話しへ頂き、続いてアニメマンガ「ドラえもん」のび太君の声でおなじみの声優 小原乃梨子さんによる講演がありました。演題は「心とこどば愛の朗読」で、ご自身の子育ての経験を通して、人間だけに与えられた「ことば」。自分の「声」で自分の考え方や想いをしっかりと

第一回山形市西部児童館の親子による、山形の夏を彩る花笠まつりでおなじみの花笠パレードで参加者の皆様を歓迎。開会宣言に続いて、主催者団体代表の皆様からあいさつ、そして山形市長より歓迎

づくりと、参加してくださいました皆様一人ひとりの顔が見え声が届くブロック研修会ならではの「全員参加型研修会」を真ん中において企画しました。

伝えることの大切さを教えていただきました。たとえ親子でも、そのときしつかりと向き合い話し合うとの必要性を感じました。

引き続き行われたフォーラムでは、「広げよう子育て支える地域の輪」をテーマとし、「子どもの声がこだまする明るい街 明るい未来」をサブタイトルに、コーディネーターに東北福祉大学助教授千葉喜久也先生、パネラーには鶴岡市社会児童課長上原正明氏、みらい子育てネット山形太刀川悦子がそれぞれの立場で、活動の紹介や意見を話されました。行政と私たち(地域)が共に手を携えてこそ叶う地域子育て支援。母親クラブはもとより、幅広い層とのネットワークですべての子どもと家庭への支援が大事であることが三人から出された共通意見でした。

【東海・近畿・北陸ブロック】

に対する期待やこれからの一連の「活動のあり方」等お話をいただき二日間の研修を閉じました。記 みつ、子育てネット山形 竹内峯子

続いて弁護士・CAPNA理事長岩城正光氏による「地域で支える子どもの虐待防止」についての講演に移りました。児童虐待は子どもの人権問題であることを、子どもを安心して育てられる環境か?自信を持つて子どもを安心して育てられる環境か?子どもが自由に振る舞える環境か?それが子どもの人権を測る物差しになっていること。また、子どもへの虐待を地域で防止していくことが今後非常に大切になり、問題のある家庭に対して、地域としてどんな手を差し伸べたらいいのか、そのようなきめ細かいやさしい支援が地域に求められてること。基本は「子育て支援」です。その後フォーラム「広げよう 子育て支援」 地域の輪～地域に根づく「次世代育成」～に移りました。三人のパネラの方々に現在の子育て支援の様子を発表していただきました。援助の原則は、指導ではなく支援であること、家族全体制を視野に入れた支援であること。その家族を一番よく理解しているのは地域の方々です。今後ますます地域の方々と協力して虐待防止に取り組んでいくことを



- 第二日目は、三分科会に別れ各自のテーマで討論しました。
- 第一分科会のテーマは「ともに子育ち親育ち」若い母親たちに母親クラブがどう関わっていくかこれからのが課題である。
- 第三分科会のテーマは「遊びで育つ子どもの心」遊びは心と身体の栄養である。
- 成十五年度子育て支援モデル事業の事例報告を発表しました。モデル事業を実施したことにより、クラブとしてステップアップすることが出来、また今後の母親クラブの方を検討するよい機会になりました。
- 二日間の研修会を終え、母親クラブの重要性を改めて認識しました。

〔中国・四国・九州ブロック〕

平成十六年十月二十八日二十九日、稻刈りの終わつたばかりの田んぼが広がる佐賀平野のまん中、佐賀市でプロック研修会を開催いたしました。県地協としましては、初めての大きな大会で、事前に何回も話し合いをしたつもりでしたが、大会が近づくにつれ、時間が足らなくなり、大会中も色々なハプニングもありましたがあれども、皆様の参加とご協力で無事に終わることがでございました。

第一日目は、開会式・行政説明・講演・フォーラムと慌ただしい中でも充

どもの未来は地域から「地域が家族となれるような活動をしていくことが必要である。各分科会のまとめを発表した後、平成十五年度子育て支援モデル事業の事例報告を発表しました。モデル事業を実施したことにより、クラブとしてステップアップすることが出来、また今後の母親クラブのあり方を検討するよい機会になりました。

記 加藤愛子

支える「地域の輪」一次世代育成」と題しまして各方面からお願いした四人の方々を、パネラーとして、今・現在の切実な問題提供・解決方法等活発な意見が出されました。鈴木先生の「子育てはいつ終わるのか、孫が二十歳になつたとき」のこの言葉が強く心に残つております。

二日目は、「平成十五年度母親クラブにおける子育て支援モデル事業」事例発表を、愛媛県松山市「元気なみらい、



はばたけ未来」、福岡県北九州市「めざそぞう」地域の子育て「宮崎県宮崎市「みんなで子育て大集合」という題目でしていただき、厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課 児童健全育成専門官鈴木雄司様より総評とこれから地域活性連絡協議会への激励の言葉をいただき閉会となりました。

失敗だらけの本当に恥ずかしいような大会でしたが、私たち佐地協にとりましては本当によい勉強の場・研修の場をいただいたと思っております。各関係団体の皆様、中国・四国・九州ブロックの皆様、本当にありがとうございました。

平成十六年度遊び場

初日は、参議院議員選挙の投票日と重なったこともあり、点検活動を行つた単位クラブ数は、八七三と報告されています。都道県・指定都市別に、安全点検を実施した遊び場数をみると、昨年度以上に熱心な取り組みをみせている地域もある一方、昨年度と同様に諸準備ができていない県も少なくないようです。母親クラブによる普段の活動の一つである遊び場の点検活動、そして、全国一斉遊び場安全点検週間を設けるようになした趣旨を十分に認識し、各単位クラブあるいは市町村を単位として、継続的に

安全点検の実施結果については、各都道県・指定都市連絡協議会事務局を通じて、全国協議会事務局に報告されました。ここでご紹介する概要は、三十二県等からの報告と点検活動に参加した小學生の協力によつて行われたアンケート結果に基づくものです。

**平成十六年度遊び場
遊具の安全点検報告**

全国一斉遊び場安全点検は、独立行政法人福祉医療機構の平成十四年度子育て支援基金助成事業で作成の「母親クラブ」のための遊び場事故防止活動マニュアル」を活用し、平成十五年七月から始まりました。昨年も同様に、子どもたちが夏季休暇に入る直前の七月第二日曜日(十一日)を初日として十七日(土)までの一週間、地域の子どもたちの遊び場で行われました。また、遊び場遊具による子どもの事故防止には、遊びの主人公である幼児・小学生等にも、普段遊んでもいる遊び場や遊具の状態を、子どもの目・手・耳で安全性を確認する経験も必要であると考えられることから、幼児・小・中学生等の積極的な参加を呼びかけました。

■**安全点検の実施結果**

道県・指定都市連絡協議会事務局を通じて、全国協議会事務局に報告されました。ここでご紹介する概要は、三十二県等からの報告と点検活動に参加した小学生の協力によって行われたアンケート結果に基づくものです。

**■
安全点検活動への参加クラブ**

初日は、参議院議員選挙の投票日となつたこともあり、点検活動を行った単位クラブ数は、八七三と報告されています。

都道県・指定都市別に、安全点検を実施した遊び場数をみると、昨年度以上に熱心な取り組みをみせている地域もある一方、昨年度と同様に諸準備ができないない県も少なくないようです。母親クラブによる普段の活動の一つである遊び場の点検活動、そして、全国一斉遊び場安全点検週間を設けるようにした趣旨を十分に認識し、各単位クラブあるいは市町村を単位として、継続的に

取り組んでいくための条件づくりが望まれます。

【齊点検活動の助言・協力者】

自治体担当課係・児童館館長・児童厚生員・主任児童委員・児童委員・幼稚園・保育所の教職員・町内会・自治会・管理組合会員等の助言や協力を得て実施された地域も多い。一方で、母親クラブ会員だけによつている地域も少なくあります。各単位クラブや同地域内のクラブは、親クラブの活動について理解を深めもらうためにも、子どもの健全育成に係わる地域内の関係組織・自治体等の協力・助言が得られるような工夫努力が期待されます。

■点検した遊び場
点検が行われた遊び場の種類別・カ所数は図にまとめた通りです。子どもの遊び場として最も多い街区公園（旧称・児童公園）の点検が多い結果となっています。

■安全点検結果
点検された遊び場総数は、昨年に比べてやや少なく一・三九六カ所で行われました。保護者の目（目視点検）、手（触診）、耳（聴診）により、「不具合なし」と判断された遊び場はそのうちの約一・十一%で、残りの約七十八%には、なんらかの不具合な遊具・ベンチ・便所・水飲み場などがあつたと報告されています。

【点検後の自治体等への報告】

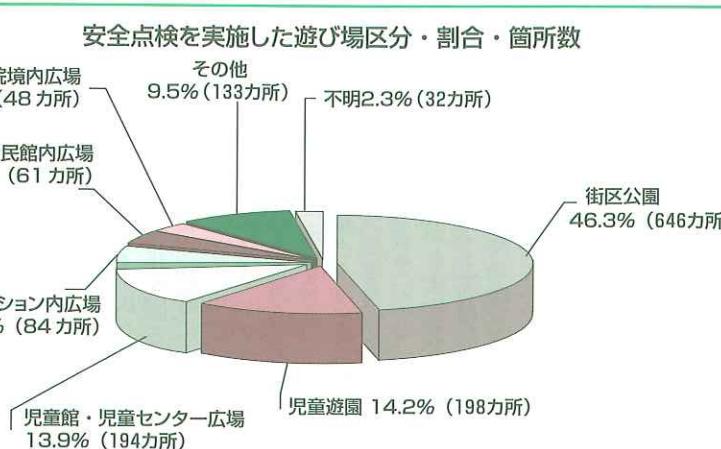
点検後、遊び場を管理する市町村担当部署や住宅管理センター等に、安全点検表や不具合な遊具の状態を撮影した写真により報告した単位クラブが多い。しかし、点検後の管理者への報告方法がまだ整っていないクラブも少なくないよう思われます。重大な事故につながりそうな遊具等の不具合については、速やかに管理者に連絡し、管理者により適切に管理者に連絡し、管理者により適切

な対応がとられることにより、遊具等による重大な事故は未然に防げるものと思います。

【小学生のアンケート結果】

アンケートには、約一・四〇〇人の小学生の協力が得られました。多くの小学生が、遊び場遊具による事故原因、利用時に気をつけるべきことについての理解ができたと回答しています。普段の遊び場点検活動でも、幼児、小学生等が参加して行われることが望られます。

埼玉県立大学
保健医療福祉学部教授 萩須隆雄



モデル事業報告

「母親クラブにおける子育て支援

モデル事業について

厚生労働省雇用均等・児童家庭育成環境課

児童健育成専門官 鈴木 雄司

平成15年7月に次世代育成支援対策推進法が成立し、地域での子育て支援の推進が本格化しました。一方、育児不安や

ストレスから、子育てに負担を感じる人

も多く、困難な状況も生まれてきました。

こうしたことから、これまで地域で児童の健育成に携わってきた全国地域活

動連絡協議会が、地域の社会資源を活用

して、あらたな子育て支援活動に取り組む必要性が出てきました。

「母親クラブにおける子育て支援モ

ル事業」は、地域における子育てニーズの

調査から始まり、関係機関との意見交換、NPOとの連携、子育てメッセの企画など、創意工夫を凝らした事業が行われ、貴

重な経験を蓄積しました。

各地域の指導者研修会では、パワーポ

イントを使ってのプレゼンテーションな

ど、活字では読みとることのできないリ

アルな報告がなされ、参加者に深い感動

を与えました。母親クラブの組織が、地域

で確実に子育て支援の活動を推進してい

ることを実感した次第です。

今後、全国の地域組織がこのモデル事

業を参考にして、その地域のニーズに合

わせて子育て支援活動を開拓していく

ことを願っています。

【平成十五年度】

次の8地域で実施した。

◆秋田県大雄村◆
目的／実際に子育てを行っている母親によ

る母親クラブを組織することで、子育てをしていく上で現実的な悩みや問題を母親の立場から考え、様々な子育て支援事業に反映させることで、安心して子育て支援団体を結ぶことができる環境づく

りを、母親自ら推進していく。

事業実施体制／母親クラブ、教育委員会、

子育て支援ネットワーク協議会を設立

し、母親クラブを中心に保育所、保健所等

と連携をとった。

実施事業／【アンケート】父、母、祖母それ

ぞれに対して、子育てへの関わり及び悩

みなどの調査を実施した。

【子育て支援講座】子どもたちのすこやかな

成長と大人の関わりについて、「懇談会」

【乳幼児の食生活・虫歯にならない食生

活】【安全環境づくり】【遊具点検と除草作

業】【その他の子育て支援事業】ミニ・マ

ジックを楽しもう】【子育てメッセ交流

会】【みんなで子育て本音でトーク・親子

レクリエーション会】

◆山形県鶴岡市◆
目的／母親クラブを中心に、地域の子育て支援団体と連携し、子育てニーズの把握や関係者との懇談会を通じて、時代に

あつた子育て支援の推進に向けた事業を展開する。

事業実施体制／母親クラブ、民生児童委員協議会連合会、子育てNPO等をメンバードとする「子育て支援推進委員会」を設立し、各所と連携を取り実施した。

実施事業／【アンケート】新生児、3歳児を持つ在宅保育世帯、子育てサークル参

加世帯に、相談・情報交換場の必要性、支援策への希望調査などをねこなつた。

【子育て支援講座】「渝しい子育て奮闘記、

子育て応援トーク&トーク】懇談会】「子

育てサーカル参加保護者との懇談会】「安

全環境づくり】「子育て安全環境点検」母

親クラブ会員と児童委員の連携で実施」

【子育てメッセ・交流会】「みんな集まれ！」

【元気キッズ】講演と子育て関係団体のブ

ース出展◆
目的／母親クラブの活性化を図り、活動をさらに全区的にアピールする。また、子育て支援団体を集結し交流を図るととも

に子育て支援活動をするためのスキルアップをおこなう。事業実施体制／杉並区母親クラブ連絡会を中心に、児童館・子育て支援団体等と連携して実施した。

実施事業／【アンケート】子育ての楽しみ・嬉しかったこと等の自由記述と、不安・悩み・要望等の質問の選択、子育てについて日頃思うことを募集し、文集を作成した。

【子育て支援講座】「読み聞かせの勧め＆音楽のひととき」、「親子で遊ぼう」「講演会（楽しく子育て）」、「フォーラム子育て仲間を作ろう」「子育てメッセ・交流会」「杉並子育てサークルネットフェスティバル」

◆静岡県静岡市◆

目的／地域での、家庭・地域・環境を考える機会とする。また、一同が楽しく集い、話し合い、学びあう交流の場とする。この事業を通して、これから子育てのネットワークや方向付けと資質の向上を図る。

事業実施体制／母親クラブを中心には、社会福祉事務所・行政・保育所等をメンバーとする「子育てメッセ・セイ・n 静岡市2004」実施事業／【アンケート】メッセの参加者に対して、みらい子育てネットの周知実行委員会を組織し、実施した。子育てに関する活動の有無、活動内容、みらい子育てネットへの要望等を調査した。

◆愛知県尾張旭市◆

目的／親育ち・子育ての面では、地域の子どもの健やかな成長を手助けし、親自身の成長の手助けをする。また、みらい子育てネットの活性化とPRを行うことを目的とする。

事業実施体制／市地域活動連絡協議会を事務局とし、社協、子ども会、P連等をメンバーとする「子育て支援推進委員会」を組織して実施した。

実施事業／【アンケート】小学3年生までの児童を持つ保護者に対して、しつけ・叱

り方・食事の実態と意識、「親育ち」についての意識などを聴取し、子育て支援講座へと繋げた。「子育て支援講座」今の子どもは本当に大事に育てられているか、「子どもはと楽しく過ごすために」、「今、家庭で大事にしたいこと」【子育てメッセ・交流会】子育て支援交流会【講演と講座開催の報告】◆愛媛県松山市◆

目的／会員数の増加・市民への啓発活動により、クラブの活性化を図る。また、クラブ間・地域間の情報交換等によるネットワークづくりの確立や、単位クラブにおける子育て支援活動のテーマを設定するなどにより、会員の意識の向上を図り、次へと続く活動を推進する。

事業実施体制／母親クラブ（みらいクラブ）を中心とする「モデル事業実行委員会」を組織し、市・児童館・ボランティアセンター等と連携を取りながら実施した。

実施事業／【アンケート】育児サークル、「みらいクラブ」の認知度や関心度、子育ての悩み・支援活動についてなどを調査した。

【子育て支援講座】「子どもを非行に走らせないために」、「食育（朝食を食べよう）」、「安全環境づくり」、「救命救急講習法」、「児童遊園地遊具点検」など。【その他】「子育て座談会」、「子どもの食生活を考える」「座談会（保健師を囲んで）」など。

健康によい生活習慣」など。【懇談会】「子育て支援事業」、「ママ劇団の発足と発表」、「EM体験バスター」、「子育てメッセ・交流会」、「スマイルフェスティバル」子育てトーキング上で、各機関や各種団体が連携し、地域の子育てネットワークのパネル展示。

◆福岡県北九州市◆

目的／地域ぐるみで子育てを支援していくことを目的とする。

事業実施体制／母親クラブメンバーと保健士、社会教育主事補による「子育て支援実施事業」を組織し、保健所・児童館・子育て推進委員会を組織して、地域の安全について調査研究を行ふとともに、普及活動を行うことによ

り方・食事の実態と意識、「親育ち」についての意識などを聴取し、子育て支援講座へと繋げた。「子育て支援講座」今の子どもは本当に大事に育てられているか、「子どもはと楽しく過ごすために」、「今、家庭で大事にしたいこと」【子育てメッセ・交流会】子育て支援交流会【講演と講座開催の報告】◆宮崎県宮崎市◆

目的／積極的に子育て支援活動を行っている市内の子育てグループや、関係機関を集め、相互理解や交流を深めることによって、より連携を密にするとともに、講演会や各グループの活動報告を行うことで、広く市民への啓発を図る。

事業実施体制／地域活動クラブ会員、児童館・社協をメンバーとする「子育て支援推進委員会」を組織し、子育てNPO、子育て支援センター、子育てサークル等との連携のもと実施した。

実施事業／【アンケート】地域活動クラブ会員、児童館利用者（子育てサークルなど）、子育て支援センター利用者等、計一〇〇〇名に対して、子育てに関する現在の状況や考え方、夫婦で子育てについて話す機会、虐待しつけなどについて調査した。

【子育てメッセ・交流会】「みんなで子育て大集合」講演会、ワークショップ、関係団体のブース出展など

育てNPO等との連携のもと実施した。

実施事業／【アンケート】子育て支援活動に関すること、子育てサポートの周知、母親クラブの周知、子育て中の親の要望、意見などについて調査した。「子育て支援講座」「子育て支援サポーター養成講座」【懇談会】「リーダー研修会」（母親クラブ会員対象）【安全環境づくり】「非行防止キャンペーント」その他の子育て支援事業「子育てサポートスキルアップ講座」、「DV講座」、「子育てメッセ・交流会」のびのび交流会、「子育てフェスティバル」「子育て屋台村」地域・子ども・支援者（母親クラブ・子育てサポート）」を繋ぐ。

◆群馬県太田市◆

目的／宝泉児童館・母親クラブの活動を根底に地域の防犯、交通、青少年健全育成推進団体との連携を図り、子どもが安心して成長できるまちづくりに向けての情報の受発信、調整の役割を担い、以って地域の子どもの成長をサポートし、地域全体による子どもの安全環境に対する意識の向上を図る。

実施事業／

- 一、安全環境づくり・遊び場点検パトロール（パチンコ店・ショッピングセンター・パトロール）子ども安全協力の家及び危険箇所マップの作成。■安全協力の家巡りスタンプラリーの開催）
- 二、子どもの安全啓蒙活動（人形劇・パネルシアター等による交通安全教室・児童虐待をテーマにした朗読劇の上演。関連演劇教室の開催）

◆福井県鯖江市◆

目的／母親クラブの会員だけでなく、地域に住むすべての方を対象に安全に安心して生活できる環境かどうか見直し、より一層の安全・安心を確保する環境を創り造していく。

実施事業／

- 一、地域の安全に関する研修会の実施
- 二、安全マップでの危険箇所再調査
- 三、安全・事故防止関係者の懇談会の実施
- 四、救命救急の講習会の実施
- 五、報告会の開催
- 六、事例集の作成

地域の次世代育成支援ネットワークに
（平成十六年度医療福祉機構助成事業）

みなさんも母親クラブ活動を進めていく上で、困っていることや悩んでいることなどありますか？恐らく、「新しいメンバーが入ってきて来ない」とか、「活動がマンネリ化している」などは、多くの母親クラブに共通の悩みなのではないでしょうか。そんな悩みにお応えするために、全地協事務局では、これから母子クラブ活動のヒントを満載した「活動マニュアル」を作成しています。

主任研究員は大正大学名誉教授の吉澤英子先生。研究員は、日本女子大学等で教鞭を取る吉田眞理先生、山形県地域活動連絡協議会の竹内峰子会長、茨城県地域活動連絡協議会の根津久美子会長、石川県地域活動連絡協議会の中野恵美子会長。児童健全育成推進財団の鈴木一光常務理事、興津哲哉理事長特任補佐、野澤秀之業務部長に加え、みずほ情報総合研究所にもサポートして頂いています。最近は、NPOや子育てサークルなど、子育てに関する地域の活動が随分と活発ですよね。でも、母親クラブには他のボランティア組織にはちょっとない特徴がいくつかあります。

一、半世紀以上の歴史があり、全国的にネットワークを持つている。

二、児童館という、活動に対しても行政から支援を受けている。

三、地域住民・施設・組織等とつながりを持つている。

四、補助金や研修などで、活動に対しても行政から支援を受けている。

五、メンバーの大半は子育て経験者である。

これらの特徴はなんといっても母親クラブならではの「強み」です。これを最大限に生かして、子育てサークルやNPOとの連携や役割分担の仕方を考えなければ、まだまだ母親クラブも伸びて行くのではないかというふうですが、「活動マニュアル」のメッセージの一つで

■ ヒアリングへの協力ありがとうございまし

た

では具体的にどうしたら良いのか。今回の事業では全国十一箇所の母親クラブの方々にヒアリングし、活動上の悩みや課題、あるいは

は逆にうまく行っていることなどを話して頂きました。マニユアルに盛り込む事例を集めました。

九州		九州	中国・四国	東海・近畿・北陸	東海・近畿・北陸	関東・甲信越	関東・甲信越	北海道・東北	北海道・東北	北海道余市町	北海道余市町
鹿児島県枕崎市	佐賀県太良町	山口県下関市	兵庫県姫路市	石川県金沢市	群馬県伊勢崎市	茨城県つくば市	栃木県足利市	山形県鶴岡市	秋田県秋田市	秋田県秋田市	秋田県秋田市
夢気球（朝田栄子）	ひまわり母親クラブ (赤木久美子)	母親クラブ (小林順子)	伊勢崎市児童センター 母親クラブ (橋田滋子)	面白山児童センター 平和町地域活動育成 クラブ（東嶺豊）	ゆたか児童館母親 クラブ（小林順子）	大曾根母親クラブ (鈴木千世)	八幡地域活動クラブ (上岡恵子)	大泉母親クラブ (小林早苗)	泉児童育成クラブ (湯浅あやめ)	クラブ（星野など）	クラブ名（会長名／敬称略）
九州	九州	中国・四国	東海・近畿・北陸	東海・近畿・北陸	関東・甲信越	関東・甲信越	北海道・東北	北海道・東北	北海道余市町	県・市町村名	プレック名

方についての調査研究事業

- ◆活動の企画にあたつての工夫
 - 特定の分野にかたよらない活動をする。
 - 会員それぞれの得意分野を生かした活動をする。
 - 自分たちが楽しめることを大切にする。
 - 中学・高校・大学生や高齢者や父親も巻きこんで、地域のすべての世代による子育てを目指す。

マネジメント研修を三箇所で実施
もう一つ、「活動マニュアル」に盛り込まれ
るメッセージは、「活動や組織運営の方法につ
いて、しっかりと学びましょう」ということ。
みなさんのこれまでの母親クラブ活動をちょつ
と振り返ってみてください。子どもの育ちや
活動のあり方に熱い思いはあるけど、
活動の方法については自覚的に学習したとい
うことはまずないのではないかでしょうか。
企画の段階では地域のニーズを踏まえなけ
ればなりませんし、活動に際しては目的をし
っかりと意識しておかないと終了後の評価が
できません。地域活動といえども、経験を積
み重ねて向上していくためには、それなりの
方法論と技術が必要なのです。
マニュアルでは、こうしたことを順を追つ
て確認できるように「活動シート」を作成して
みなさんに活用して頂くことを考えていました。



みらい子育てネット ブロック別活動報告

【親子及び世代間の交流・文化活動】
地域の拠点として、

北海道・東北ブロック活動報告

子どもたちの笑顔とともに

私たちの活動の場 土崎児童館はもうすぐ開館二十五周年を迎えます。土崎地域には、国の重要無形民俗文化財「港まつり」があり、地域の連帯感も強く、子どもたちは、おじいちゃん、おばあちゃんそして、地域の方たちから教えていただ

くものはたくさんあります。私たち育成クラブは現在、九名の会員で頑張っていますが、時には、学校のPTAの方たちや地域の方たちの協力をいただいての活動を行なう時もあります。私たち育成クラブの活動は、月一回「わくわくタイム」の行事を行なっています。その中で今年印

す。これには子どもたちと一緒にびっくりしたり、喜んでしました。十二月、児童館運営委員会の方たちとの協賛で行われる「もちつきお楽しみ会」にしている行事の一つとなりました。もち米を蒸すのを初めてみる子、大きなきねを持つのも初めて、わくわくしながら行われるものちつきです。私たちだけではなく地域の方たちのお手伝いをいただき本当にうれしく思います。

親子の関わりあいだけでなく地域の方たちとの交流でたくさんのことを見学してみたいと思います。そして私たち

児童館。そして、そんな中での「わくわくタイム」では、子どもたちが色々な事を体験してみたいと思います。

も子どもたちから笑顔をたくさんもらいたいですね。

記 土崎児童館
育成クラブ
泉谷カツ子



関東・甲信越ブロック活動報告

【児童事故防止のための活動】

一月「手打ちうどんづくり」小学校の校長先生が手打ちうどんを教えてくださいねてねかせた小麦粉を子どもたちはラップの芯を麺棒変わりにし、のばして作った生地を割りばしほどの太ささんのうどんやクツキー型で抜き取つたうどんをつくります。型は様々でしたがおしさは最高でした。

七月は「夏祭り」を行いミニおばけ屋敷もつくり五、六年生のボランティアがおばけに扮し盛り上げてくれました。お祭りのフィナーレは、「みなど小唄」を参加者全員で踊り感激で終わることがありました。

九月、玉ねぎの皮を使いハンカチの絞り染めに挑戦。輪ゴムでしばる場所やかけかたのちがいによりいろいろな模様ができるのを楽しみました。そして、なま卵を玉ねぎの皮で包み、ゆで卵を作るとなんと恐竜の卵が出来てしまふんです。

いい環境で、いい遊び場で、いろんな体験を通して子供達は日々成長していきます。いつも子どもの目線で考え、見守り、サポートしていくことが、私達周りに居る大人達の役割でもあります。遊び場のハザードチェック、安全点検は、親としての厳しい視線に立つてみると、とてもいい機会であり、事業です。公共の遊

具なんだから大丈夫だろうと漠然と遊ばせていた親にとつては、こんなに危険が潜んでいたのかと、改めて考えるきっかけになりました。

新潟市にあります「児童育成万代クラブ」の遊び場点検の取り組みを紹介致します。

一、実施日：平成十六年七月二十四日
二、実施公園：万代公園新潟市東万代町九一三
街区公園三八〇〇平米
三、目的：「樹木による公園の死角」を無くすことにより、非行や犯罪を抑止し子供たちが安全に公園を利用できるようにする。

一、実施日：平成十六年七月二十四日
二、実施公園：万代公園新潟市東万代町九一三
街区公園三八〇〇平米
三、目的：「樹木による公園の死角」を無くすことにより、非行や犯罪を抑止し子供たちが安全に公園を利用できるようにする。



東海・近畿・北陸ブロック活動報告

【児童福祉の向上に寄与する活動】

平成十五年十六年と特に推し進められている「地域で育む子育て」は各視点から切り口での研修が行われ実施されています。愛知県においても虐待に関する不安な事件が多く、虐待といふ言葉とどこからが虐待で、しつけと虐待の違いは何なのかわからず悩み不安になつてている。これは子育てをしている親ばかりではなく祖父母を始め地域で子育てをしている人も同じで、たとえば、家の中から聞こえてくる声や、子どもの泣き声からはなかなか判断できず迷つてしまふ。このような不安や疑問を課題の一つとして研修が行われました。

虐待は四つの種類、1・身体的（なぐる、ける）2・心理的（言葉による）3・性

元の小中学校に連絡。中学校では現場確認後、落書きを消す作業を行い、今後も協力していきたいということでした。個人名が多いためクラブメンバーのみで落書き消しを予定しました。イジメや犯罪へつながっていく落書きを放置することは、無関心な地域の表れです。協力し合いまして消していくことが大切です。なお万代公園は、「児童育成万代クラブ」と他団体の陳情により、本年度「児童遊園」として認可の方向で検討されています。

記 新潟県地協 野崎幸子



的 4、ネグレクト（養育放棄）とあり、1は目にすれば判りやすい、2は虐待ではないように感じるがこれもれつきとした虐待、3はその時点では気づかず成長したかに思えるがセクシャルな意識の認識を子どもがもつた時（思春期頃）人格の破壊がおきる、4は育てることを放棄してしまうといった四つのイメージの異なる内容です。

しつけと虐待の違いは？と問われるとき、しつけとは愛情のあるしかし、虐待は親の感情で怒ることとどちらも抽象的なもの言いであり、まだまだ日本の社会では体罰をしつけとみなす考えが多く、暴力を正当化する親の事情からの見方がされている。が、児童福祉法の改正にともない市町村地域のネットワークに力を入れ社会福祉事務所が関わり予防、早期発見、早期対応アフターケアに、そして深刻化した件に對しては児童相談所が力をそそぐに変わり、私たちの活動も「知らなかつたわ」では終わらない、地域で重要な役割をもつた立場にいることを学ぶ機会となりました。

虐待にとらわれず今までの活動は、児童健全育成という大きな取り組みを重ねているわけで、こうした核の部分を知ることで全般に向けての共通点が多い事を知り、次世代育成という大きな課題に対し、今何ができるかなにをするか、何をしなければが問われているようを感じます。児童館・児童センター等で行事に関わる私たちは親子とのふれあいが多い中で、日頃の何気ない会話やしぐさを身近に感じ、何でも言える、聞ける間柄が持てる。このような何気ない行いが生き癖々になる、この事が私たち地域活動連絡協議会の各会員に課せられた行動ではないかとより強く思えるようなりました。

県で研修をし、学び得た事を各市町村へ持ち帰り地域に見合った実行に移



記 木澤和子
た年でした。

中国・四国ブロック活動報告

【児童教育に関する活動】

「愛と感謝と人の為に」という思い、もしかしたら日本人が忘れてしまって今ギクシャクした世の中になっているのでは。本当に今の子どもはという前には自分が考えることとしました。「日本の常識や思いやりの心を改めて考え直す機会を与えられることに感謝。笑いながらも自分を省みて楽しい時間が過ぎました。」講演後のアンケートから参加された皆さんの熱い思いが伝わってきました。

今年度、別府で開催された全国大会で佐伯区では、昨年度より「あつまれ！0123子育てを楽しもう」と題して、区内の子育て親子、子育て支援者が集まり一緒に楽しむ行事を開催しています。民生・児童委員やオープンスペース・サークルの代表者、子育て支援センターの方々と一緒に企画の段階から話し合い、オーブンスペースや工作コーナー、喫茶コーナー等を担当しています。参加された親子はもちろん他の支援者の方々との情報交換や交流の場にもなり、日頃の地域での活動にもつながります。子育て相談委員さんを始め、専門知識を持つた方との出会いもあり、手遊びや読み聞かせ、応急処置等についてのご指導をお願いして、子育て支援の知識や技術も学んでいます。

会後も様々な研修会を企画し、会員の言葉に、参加者は真剣そのものでした。提

せるかはその場に参加した人、そして各市町の理事さんを始め今手綱を引いている人、触れている人に委ねられているわけで、さらなる活動のためにも今の社事が必要とされたり、新企画がどしどし出され検討でき活用できる協議会に会に見合った変化を取り入れ活動する

年間に一、二回の意義深い研修会になりました。会員が活動しております。年に一、二回研修会を開催し、講演会や情報交換等を行なっています。八つの区や単位クラブでも、社会状況やニーズに応じてマスクットや料理の講習会、エプロンシアター制作、子ども連れて参加できる研修等工夫を凝らして実施しています。

また今年度より、地域での子育て支援の効率化をはかるため、区の子育て支援センターとの連携を深めることに務めています。具体的には、子育て支援センターが実施している「子育て親子の交流の場」へのスタッフとしての参加、協力、地域のオープンスペースの開設、子育てガイドブックの制作等があります。地域における子育てに関する意見交換や情報交換のために、子育て支援連絡会や研修会にも参加しています。



九州ブロック活動報告

【児童館日曜等開館活動】

ふれ合う仲間、見守るクラブ やわらかな日差しの差し込む昼さんが、友達と楽しそうに遊んでる高学年、慣れた手つきで、遊具を乗り回す小さい子、追っかけたり、写真を撮つてる親、ドドミノ挑戦の子を見守る親、一緒にボール遊びの親子、日曜日の児童館は、いつもと少し違います。

熊本市の児童館は当初から日曜日も開いてて、県全体でも開いてる所が多いようです。 各箇所それぞれ活動も行っています。児童館独自の行事、ゲームや大会、そして母親クラブも協賛する行事、もちろん「ぜひとも多くの会員さんに生の声でお話を」と広島での講演会が実現しました。当日会場は満員。ワトソンさんのユーモアを交えながらも説得力のある提言に、参加者は真剣そのものでした。

資質の向上をはかりたいと思います。そして人と人とのつながりを大切に、その輪を広げ地域ぐるみで子育て支援や児童健全育成活動を推進していくたいと考えております。

記 広島市地域活動連絡協議会 藤井優子

中。カレー、蒸しパン、どうもろーし、わたがし、だんご汁等々、店開き準備中です。外の広場には、うさぎ、ポニー等のミニ動物達もやつてきました。室内では、いろんな体験が出来る各ポイントの設置、さあ幕明けです。受付を済ませた子ども達がやつてきます。親や祖父母達と一緒にだつたり、メンバーの子ども達は、自然と大きい子が小さい子のめんどうを見ていたり、父親がいっしょにめんどう見ていました。体験コーナーでつくったチーズを見せてくる子、またバザーの手伝いをしにくる子、バザーの手を休めて親子一緒にニコニコランチタイム、食事を終えた子ども達は、また遊びの中に戻っています。児童館の中は、子ども達の歓声や笑い声がこだまし、活気あふれています。児童館の中は、子ども達の歓声や笑い声がこだまし、活気あふれています。すぐ近くの遊べる場、心身共に成長していく場として重要な児童館。出逢う友は、年令が違い、校区も違つてしたり、その事がより一層、友達の和を深める事もあるように思えます。

日曜開館によつて、いろんな行事に取り組める事は、とても有難い事です。行事のあるなしに係わらず、児童館を拠点とした親子同士のつながりが深まる事にもなります。子ども達の方にも、日頃の様子を父親や母親に見てもらいたかつたり、又日頃忙しい親達とふれあいを求めてたり、そこには、家の中とは、また違う子どもの様子を垣間見れる場でもあります。働く親達が多くなつた今、日曜開館するという事は、とても大事な事のように思います。日曜日休日にならない子の受け皿だつたり、子ども達の発するいろん

**福井県地域活動連絡協議会
細川 豊子会長【旭日双光章】授章！**

おめでとうございます

叙勲のお知らせ

平成十六年度秋の叙勲で福井県の細川会長がめでたく旭日双光章を授章されました。

細川さんは、一九七八年に鯖江市母親クラブ連絡協議会を設立し、会長に就任。その後、福井県母親クラブ連絡協議会の会長や全国母親クラブ連絡協議会の副会長などを歴任し、三十年以上にわたつて子どもたちの健全育成に力を尽くしてこられました。

母親クラブを続けてきたのは「子どもたちが大好きで成長が楽しみだから」だそうです。今後益々のご健康と、ご活躍をお祈りします。



な暗号を察知出来る事につながるかもしれません。とても、良い安全な遊び場である、児童館を楽しみにどう仲間づくり、親子の想い出づくりに、母親クラブも協力し見守つていけたらと思つています。

記 熊本県地協会長 中川 久美子

お知らせ

母親クラブ安全点検週間

七月第二日曜から一週間
(初日全国一齊安全点検日)

実施日

平成十七年七月十日(日)～十六日(土)

初日／全国一齊安全点検日

各県・市の中心地にある街区公園、児童

遊園(これらの遊び場が皆無である地

域では、団地内・集合住宅内遊び場、児童館広場など)から一ヵ所を選択し、

県・市地協が中心となり実施してください。

二日目以降／単位クラブがある地域内の街区公園、児童遊園等を対象に安全点検を実施して下さい。詳細については、事前にご連絡いたします。

平成十七年度の地域活動総合保険『みらい』の取り扱いは左記のとおりです。
一、保険期間
平成十七年五月二十日より一年間

二、申込み手続き

1.申込み方法
加入申込票(二月二三日郵送)に必要事項を記入、ご捺印のうえ、各都道県・指定都市事務局までお送りください。

2.掛金の送金
各都道県・政令指定都市事務局へご確認ください。

3.申込締切日
平成十七年五月十日(全地協事務局必着)

1.中途加入
平成十七年五月十日／毎月二十日

2.申込締切日／毎月十日

(全地協事務局必着)

本紙の発行にあたりましては、朝日生命役職員の方々から、児童健全育成推進財團にいたしましたご寄付の一部を活用させていただきました。

平成十七年度全国大会並びにブロック研修会は、左記のとおり開催の予定となっておりますのでご案内いたします。

■ 地域組織活動指導者全国大会
開催地：仙台市／開催日：平成十七年七月十四日(木)～十五日(金)

会場：仙台市情報・産業プラザ

宮城県仙台市青葉区中央一丁目
北海道岩見沢市四条東一丁目
「北海道・東北・関東・甲信越」
ブロック研修会
開催地：北海道／開催日：平成十七年九月二一日(水)～二二日(木)
会場：ホテルサン・プラザ

「東海・近畿・北陸」ブロック研修会
開催地：福井県／開催日：平成十七年十月六日(木)～七日(金)
会場：福井厚生年金会館

福井県福井市手寄二丁目
「中国・四国・九州」ブロック研修会
開催地：香川県／開催日：平成十七年十一月十日(木)～十一日(金)
会場：高松国際ホテル
香川県高松市木太町二丁目二一